

# 第33回 地域を活かす科学技術政策研修会

## 分科会 参加者募集のお知らせ



分科会C

## 『自然と共に生きる地域社会のデザイン』 ～防災と鳥獣被害～

開催日時

**2026年3月6日[金]** 10:00~16:00 受付開始 9:30

会場

**朱鷺メッセ 301中会議室**

<https://www.tokimesse.com/visitor/access/>

開催概要

[申込方法] 弊協会（JAREC）のホームページよりお申し込み願います。  
以下のURLまたは右のQRコードからもアクセスできます。  
定員となり次第締切となります。

[https://www.jarec.or.jp/33th\\_jarec\\_symposium/moushikomi.html](https://www.jarec.or.jp/33th_jarec_symposium/moushikomi.html)



主催：公益財団法人全日本科学技術協会（JAREC）

共催：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

後援：内閣府 新潟県 新潟市 新潟大学 長岡技術科学大学

東北経済連合会 にいがた産業創造機構

連絡先：Email [ookado@jarec.or.jp](mailto:ookado@jarec.or.jp) / TEL 03-3831-5911（担当：大門）

# プログラム

受付 9:30  
説明 9:50

講演1 10:00  
11:00

講演2 11:10  
12:10

講演3 13:00  
14:00

講演4 14:15  
15:45

解散 16:00

## 「分科会のねらいと進め方について」

進行 公益財団法人全日本科学技術協会 (JAREC)  
事業推進部 大門 雅明  
コメンテーター 名古屋大学名誉教授・あいち・なごや強靱化共創センター長  
福和 伸夫 氏

## 「新潟大学 災害・復興科学研究所の取り組み」



新潟大学 災害・復興科学研究所  
所長 卜部 厚志 氏

地震による液状化被害の実態と対応や新潟に内在する地震災害等のリスクを紹介し、新潟大学 災害・復興科学研究所が目指す「適応能力が高い強靱な社会」について解説します。

休憩(11:00~11:10)

## 「最近の雪氷災害の傾向と対応策」



防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター  
特別研究員 上石 勲 氏

最近の雪の降り方と雪氷災害の発生状況やその特徴を紹介すると共に、データプラットフォームなどを活用した新しい取り組みなど最新の雪氷災害対策などを解説します。

ランチ休憩(12:10~13:00)

## 「長岡技術科学大学 地域防災実践研究センターにおける取り組み」



長岡技術科学大学 地域防災実践研究センター  
客員教授 吉澤 厚文 氏

長岡技術科学大学の地域防災実践研究センターで行っている実践的な研究開発や、その産学官連携による社会実装事例についてご紹介します。

休憩(14:00~14:15)

## クロストーク「鳥獣被害対策と人間社会の今後の在り方」



新潟大学  
名誉教授 箕口 秀夫 氏



長岡技術科学大学 物質生物系  
准教授 山本 麻希 氏

森林学を専門とし、クマの問題や生態調査に取り組まれている箕口氏と野生動物管理工学の研究者である山本氏の双方の調査や研究内容から今後の対策や人間社会との在り方を考えます。

## アクセス

朱鷺メッセ  
新潟コンベンションセンター  
301中会議室

〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号  
<https://irides.tohoku.ac.jp/access/>

